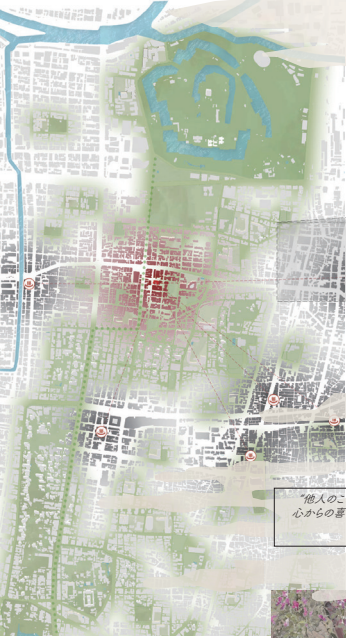


ECOSYSTEM (\*4)

エコシステム(緑との共生)のNEXT

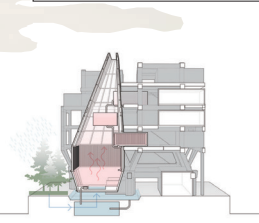
緑により土壌に吸収・浸透・ろ過された雨水を貯水タンクに集め、雨水。熱した水は鉄橋へ、鉄橋の熱気は上層のテナ、そして空へと立ちのぼる。

“ベストが再びその嵐を呼びよせ、どこの幸福な都市に僕らを死なせしめ、向ける日が来るであろう”  
\*1 (『ベストアルベルカミ』1947)



Site Plan 1:1250

“腐葉の木々は、人間が汚したこの世界を綺麗にするために生まれてきたの。…この地下の空洞は、そしてきたの。私たちは、その森を守っている。”  
\*4 (『風の谷のナツカ』宮崎駿 1986)



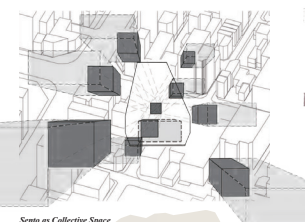
Ecology Diagram

URBAN SPACE (\*5)

ライフスタイルネットワーク(緑へ開く住みか)のNEXT

1階に店舗を設け、2階に居住することで、地域のつながりを守り、その後の都市の発展・アップデートに貢献するオープンな家を築き、また、地域住民とのネットワークを、そして良い手回しの関係性をより深めていく。さらにそこにサナタケを栽培し、サナタケはよき公共空間を築くのに貢献する。

“わしは、この女のした事が悪いとは思ってない。せねば、誰死をするのじゃ。仕方なくした事もある。されば、今又、わしのした事も悪い事とは思わぬぞよ”  
\*2 (『養生門』芥川龍之介 1915)



Sense as Collective Space

Close-Open System (Close-Open System)の導入。大規模で完成された大規模な建築を支えようとする地域の価値も利用可能な範囲と共有し、NEXT21の存在はいつでも自由なアクセスでも可能である。しかし、民間にはこの空間が地域社会に開かれ、安全な場所を確保することを目指す。日本の職人の職としてだけでなく、緊急時の人災を減らすことでも、地域の結びつきを、特別なものとする。

“他人のことを思いやて行動し、よい結果を得たときに、心からの喜びを感じるものである。”  
\*5 (『銀河鉄道之夜』宮沢賢治 1934)

NEXT<sup>21</sup> | Space To-Gather: A Room for Imagination

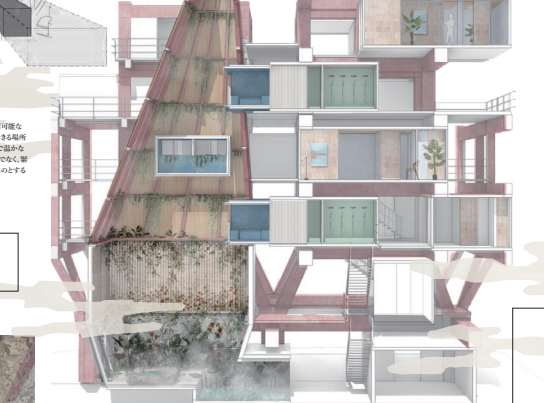
森と、ともに 地域と、ともに 建物と、ともに 居場所を、ともに

実行団体・日本・NEXT21が建てた人のための、鬼神退治の儀式によって建てる。(\*)  
そして2020年、開かれた新たな試み、COVID-19によって閉鎖された。(\*\*)  
先われた日常に慣れた心は、社会への怒りを覚悟させる。(\*\*)  
遠く離れたウクライナ、バレスナの地で、怒りはどのように、世界を覆った。  
だが、ここにも見える。犠牲を払い、ともに生きるという者たちの愛。  
NEXT21は、そんな新たな社会の形成を目指す一歩であり、その中でも、希望を育む場所。



3rd Storey Plan 1:250

“ほんとうにみんなの華のためならば僕のからだなんか百べん灼いてもかまわない”  
\*3 (『銀河鉄道之夜』宮沢賢治 1934)



Sectional Perspective 1:100



1st Storey Plan 1:400

BUILDING TRANSITION (\*6)

システム(NEXT)

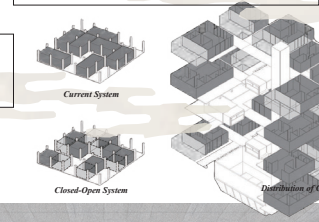
今までの計画は半年後の未来を想定し、都市計画でアタリが考えられていた。しかし、本計画ではその後を見直し、その計画で役割の果たす人々の考えを、STEP1:機能を設置する一階にのみ、STEP2:高層の敷地を確保してオープンなスペースに人を集めるSTEP3:引き続き高層の敷地を確保していき、広げたオープンなスペースを確保する一階に、地域からのオープンなスペースへの需要が促されるSTEP4:機能を設置し、環境も機能としてNEXT21が完成する。

SOCIAL SYSTEM (\*7)

インリアル(空間)のNEXT

住む人の間に愛を育み、設計を軸に、かつその過程に敬意を払い、各々の異なる価値観をオープンに受け入れ、共有の価値を生み出す。新たな空間の価値を生み出す。家族の形が変わり、子供が成長し、住人が暮らすことに、その住むは柔軟に、かつ止まることなくその形を覚えていき、いよいよ空間に新たな文化も生まれるのである。

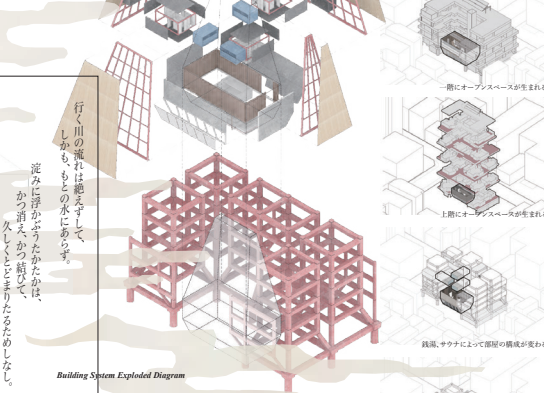
“多すぎる火は何も生みはせん。火は一日で森を灰にするが、水と風は100年かけて森を育てる。”  
\*6 (『風の谷のナツカ』宮崎駿 1984)



Distribution of Close-Open Space



Interior Room View



Building System Exploded Diagram

エコシステム、ライフスタイルネットワーク、そしてスケルトン、インリアル(NEXT)によってNEXT21と機械とのネットワークは創られる。ネットワークは地域を活性化させ、地域住民が新たな住まいへと変わっていく。新たに誕生するA Space To-Gatherは地域の絆を深め、ともに未来を創る創造の場を創る。それはA Room for Imagination、地域全体が次のNEXT21を創出するための舞台となる。

N00157

NEXT<sup>21</sup> | Space To-Gather: A Room for Imagination

森と、ともに 地域と、ともに 建物と、ともに 居場所を、ともに

石見 優太(明治大学大学院)

高橋 尚希(明治大学大学院)

木村 美咲(明治大学大学院)

塩崎 未琴(明治大学大学院)

CHOY RUI ZHI チョイ ルイ ズー(明治大学大学院)

LIU JIAWEN リュウ カモン(明治大学大学院)